



森島勝美 著
Morishima Katsumi

奇跡の介護リフト

自称:吊りバ力つるべ
30年前、物作りの経験もなくまともな図面も描けなかった現会長。利用者の切実な願いで無謀とも思える介護リフトの開発へ。たくさんの人々に支えられた悪戦苦闘の奮闘記。

Small adventures and daily challenges

(ささやかな冒険と日々の挑戦)

『日本で使えるリフト
にこだわつたら
自分で作るしか
なかつた
膨らんだ夢は
何度もしぶみかけた
利用者の笑顔が
背中を押してくれた』

人に優しい介護の国に!

自らを信じて挑んだ国産介護リフト開発

「日本人が使いやすい物を作る」

その男は医療機器の販売から
国産介護リフトメーカーへと舵を切った

